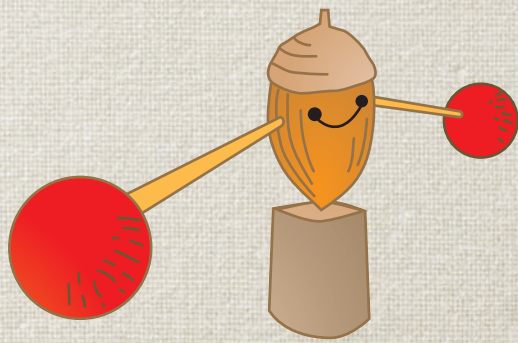


# いまの大学生にとっての「幸せ」な未来とは

HRI 研究員  
澤田美奈子

仕事か、家庭か、趣味か。上から下へと順序をつける生き方はもはやナンセンス。10年後の自分を描いた自由回答からは、そんな「声」が聞こえてくる。彼らにとつての幸せな未来の条件は、自分の仕事や私生活に向けるエネルギーをかたよりなく分散させて、調和させることなのだ。



自由回答を眺めると、いまの大学生たちは、現実と照らし合わせた上でかなり慎重かつ堅実な将来イメージを抱いているのが特徴的だ。

「社長」「起業」「海外で活躍」といったハンガリーでアンビシャスな理想を掲げる学生も一部にはいるものの、大半は「普通」「平凡」「人並み」といったオーソドックスな将来像を描いている。より高いところを目指したい、周囲から抜きん出たいと、上向きのパワーをもっている人を「タテ」志向とすると、いまの大学生のマジヨリティーは、自分にとつて

大切なさまざまな物事を等しく尊重するために、左右の方向にパワーを拡散させようとする「ヨコ」志向の価値観をもつ人々と言える。

「ヨコ」志向の彼らにとつて大切なキーワードは「バランス」だ。仕事も家庭も大事にする男性像、育児に励みながらも働く女性像を思い描く学生たちの声は、仕事のみで明け暮れる男性、仕事か家庭かの二者択一で悩む女性を未来像に据える学生の声に比べ、きわめて明るく生き生きと響いてくる。仕事か、家庭か、趣味か、上から下へと順序

をつけることを迫る生き方はもはやナンセンスなのである。自分の仕事や私生活に向けるエネルギーをかたよりなく分散させて調和させることが、彼らにとつての幸せな未来の条件なのだ。

さらに、彼らのもつ視野のフラットさも一つの「ヨコ」志向の表れといえる。将来の活躍の舞台として選ぶのは、大都市にこだわることなく、地方や自分の育った地元とする意見も少なくない。一流会社員や弁護士、医師、起業家を目指すのも、社会や地域への貢献意識や、国際平和への願いが背景にある。

このように、上を見上げるよりも、周りを見渡す能力が高いということは、「大学」という場の意義を暗に示しているように思う。入学に至るまでのハードな大学受験、そして卒業後に想定されるシビアな社会人生活。その狭間に位置する「大学」は、高校時代までよりはかなり現実味を伴った、しかし社会のリアルからはだいぶ距離のある「観客席」のような場所と言える。そのような場所からいまの社会を眺めて彼らなりに咀嚼し、理想を描いた結果が、「タテ」ではなく「ヨコ」への志向だと考えると、これまでの「タテ」志向の社会——ひたすら高みを目指すことに専心し、すぐ脇にある大事なものを見失っているような社会——のあり方は、冷静なる「社会の観客」からは、「何かが違うのでは」「変えていかなければならないことがあるのでは」という疑問符が打たれているのである。

10年後、彼らは「観客」ではなく、共に社会をつくる仲間となる。「野心に乏しい、夢を見ない最近の若者」として彼らを受け入れるのは必ずしも正しくはないだろう。「未来は真っ白、すべてはこれから」という意思からも伝わるように、彼らなりの新しい価値観は、新しい「幸せ」な未来社会への道のりを示す、重要な道しるべのひとつになるのだから。

# 自由回答紹介

## 大学生たちの 10年後のイメージ像 から探る、 「幸せ」のかたち

### 1 職業

#### 会社員

##### ▼社内でトップ、一流を目指す

- ・社長になっている。(4年男子、社会科学)
- ・一流のシステムエンジニアとして、企業社会、共に貢献できる人間になっている。(4年男子、人文科学)
- ・会社の主力商品の開発に貢献していきたい。(4年男子、工学)

##### ▼普通の平社員

- ・サラリーマンとして平均的な暮らしをしている気がする。(3年男子、人文科学)
- ・駄目だ駄目だ、と思いつつ平社員。(2年女子、農・林・獣医畜産・水産)
- ・特段、変化を求めない。世間一般の旧帝大通の事務職をしていると思う。(4年男子、社会科学)
- ・相変わらずサラリーマンをしていて、自営業に比べて高い税金を取られ、親の世代に実施した国家施策のツケを払わされていると愚痴を言いつつも残業して、お金をあのに使う時間がないような生活をしている。(修士2年男子、工学)

#### 会社員以外

- ・どこにでもいる普通の医者として平凡に働いている。(3年男子、医学・歯学・薬学)
- ・海上保安庁の潜水士かつ人命救助のエンジニアとして、日夜日本の領海の治安維持に貢献している。(2年男子、人文科学)
- ・持続可能な農業を実践し、世界に発信している。(3年男子、農・林・獣医畜産・水産)
- ・臨床心理士の資格を取り、病院でセラピストとして働きながら、スクールカウンセラーを副業としている。(4年男子、人文科学)

#### 公務員

- ・公務員として夫婦共働きをして、人並みの生活をしている。(2年女子、社会科学)
- ・安定した公務員になって、平均的な生活をしている。(3年男子、理学)

#### 起業する

- ・既存のメガバンクを超える、巨大財閥設立のための足かりを作っている。(1年男子、社会科学)
- ・イベント、ショップなどのプランナー業がメインの会社を設立。ゆくゆくは事業展開していき、もっと人の役に立つ仕事、子どもたちを助けられる仕事や、工社に関する仕事にも取り組んでいる。会社で働く社員もストレスを感じることのないような気遣いがある会社になりたい。(1年女子、社会科学)

#### 海外で活躍する

- ・現在習得過程の語学(スラブ語系)を生かして、ヨーロッパで活躍している。(3年女子、人文科学)

- ・研究者として、学会発表のため、世界をまわっている。(1年男子、その他)

「今から10年後、あなたはどんな暮らしや仕事をしていると思いますか?思い浮かぶイメージを自由にご記入ください」

今回のアンケート調査の最後に、このような質問を置き、自由に回答してもらった。数量的データを眺めるだけでは聞かえてこない、大学生の「声」に耳を傾け、彼らの描く「幸せ」のかたち、彼らがつくる未来社会について考えるための手がかりとしたい。これから紹介する回答は、有効回答者数1742名の自由記述の一部を抜粋したものである。

・女性というだけで、若干厳しい状況下におかれている。お茶汲みのような、簡単な事でもできる。かつ、上司に気を遣う仕えないのもわかっていて、我慢すれば救われるとも考えながら生きている。(3年女子、人文科学)

・声優になって仕事も収入も安定して、死ぬまで続けられるような自分の居場所を見つけている。(2年女子、理学)



## 2 結婚

すでに結婚して子どもも

- ・きれいな奥さんと結婚して、3人の子どもと休日には家族で出かけられるような家庭を築いていたい。(3年男子、医学・歯学・薬学)
- ・結婚して、子育てをしている。旦那さんがお休みの日には、親子でお出かけするような、平凡だけど幸せで、落ち着いているけど、日々充実しているような生活を送っていたいです。(4年女子、人文科学)

そろそろ考えはじめる

- ・三十路を前にして、彼女とはそろそろ結婚したいと考えている。(1年男子、医学・歯学・薬学)
- ・彼はいるけれど、結婚するか微妙な関係。(4年女子、理学)

まだ独身

- ・結婚できずに仕事はつかりして。(3年男子、工学)
- ・結婚もせず、「仕事がパートナー」状態で多忙な日々を送っている。(修士1年女子、芸術)
- ・結婚して退職したいと思いつつも、まだ結婚できずに仕事第一でがんばっていると思う。地道にためたお金で自分にご褒美を買ったり、節約しながらもプチリッチな生活をしていると思う。(4年女子、その他)

## 3 暮らしている場所

東京

- ・東京23区内、もしくは立川・吉祥寺あたりに在住し、不動産か金融関係、家電メーカーなどの仕事をしていると思う。(1年男子、社会科学)
- ・東京に出て、収入は少ないながらも夢に向かってがんばっていると思う。(2年女子、社会科学)

地方、地元

- ・沖縄発の世界に誇れる企業(貿易関係)を設立。(2年男子、社会科学)
- ・都会ではなく、田舎に住んでいると思う。小さな企業に就職して、そろそろ自分の生活も考えないと、と思う。焦っているかも。親の介護のことも考えないとけない。(3年女子、人文科学)
- ・田舎で地味な仕事をして、貧乏だけど頼りにされている、町の弁護士。(修士2年男子、社会科学)
- ・地元の公務員となって、地元民のために懸命に働く。(3年男子、社会科学)
- ・地元に戻り、実家の農業と自分の仕事を兼業する。何の刺激も無い穏やかで平凡な田舎暮らしをしながら、家族の面倒を見て親孝行。子どもは絶対に3人。(1年女子、芸術)

海外

- ・海外支社の支社長になってモナコに住む。もちろん本社の第二位株主として、悠々自適に生活する。(2年男子、社会科学)
- ・外国人と結婚して子どももいて、海外で暮らしている。(修士1年女子、工学)

一人暮らし

- ・一人暮らしのサラリーマン。社宅と会社を往復する日々。(修士1年男子、工学)
- ・社会人になって一人暮らしを始めることで、生活や性格がかなり変わりそうな予感がする。これまでは人に依存せずマイペースに生きてきたが、やはり寂しくなりそうな気がする。(4年女子、社会科学)

実家暮らし

- ・仕事に就きながら、家では退職した両親と同居していると思う。(4年男子、工学)
- ・まだ実家住まいで地味な事務員をしていると思う。未婚のまま。(4年女子、社会科学)

## 4 経済水準

平均以上の暮らし

- ・年収5000万以上。敏腕若社長として、毎晩中洲で飲んでも贅沢できる暮らしをしている。(3年男子、人文科学)
- ・文部科学省で働くバリバリのキャリアウーマン。千代田区のタワーマンションを所有し、休日には高級外車でドライブをしている。(3年女子、理学)

平均的な暮らし

- ・悪くもなく非常に良いわけでもなく、人並みの生活ができれば良いと思う。(4年男子、社会科学)
- ・生活は人並みではあるが、自信を失わず、精神的に余裕のある暮らしをしている。(1年男子、工学)

平均以下の暮らし

- ・よほどのことがない限り、一般的にいう「平凡な暮らし」をしていると思う。日常えはおもしろ味のない暮らし。でもそこそが自分が一番求めているものなのかもしれない。(3年女子、人文科学)
- ・収入がまだ低く、一人暮らしでけっこう貧しい暮らしをしている(1年男子、工学)
- ・毎月食べていけないギリギリの給料をやりくりし、安いアパートで生活する。(1年女子、人文科学)

## 5 仕事と生活のバランス

### 仕事 or 家庭

▼仕事一筋の男性

- ・サラリーマン。結婚もせずに仕事だけ。休日は寝て過ごす。(1年男子、社会学)
- ・仕事ばかりで心に余裕がなくなっている。(3年男子、人文科学)

▼家庭を選ぶ女性

- ・10年後までには、出産して退職したい。(3年女子、人文科学)
- ・27歳のときに結婚。5年が経ち、子どもが2人いる。結婚後、仕事を続けていたが、妊娠と同時に休職。現在も休職中。元の会社に戻る自信がなくなり、退職・再就職を考えている。(3年女子、人文科学)

主婦になって、貧乏と戦いながら子育てをし、人からは「なぜ高学歴なのに就職しないのか」という陰口を言われながら、「実は就職したかった」という後悔に思いを馳せ、そこそこの暮らしをしている。(修士2年、人文科学)

### 仕事 and 家庭

▼仕事も家庭も大事にする男性

- ・仕事だけではなく、育児や家事もきちんと奥さんと一緒に分担をしている。(2年男子、社会科学)
- ・結婚し、仕事と家庭を両立させる、良き父親になれるように努力している。(4年男子、社会科学)

▼家庭と仕事を両立させる女性

自分のお店を彼女と経営して、幸せな家庭を築いている。(4年男子、社会科学)

既婚、子持ち。仕事は、在宅で、オリジナル・ハンドメイドショップをネットで経営。楽しく過ごしている。(1年女子、芸術)

結婚して子育てをしながら、自分のダンス・スタジオをもって、ダンス・インストラクターとして働いている。(3年女子、人文科学)

現在就職したいと思っている業種は育児休暇が取りやすいので、家庭をもつても仕事を続けたいと思う。(4年女子、理学)

子、理学)

医師としてキャリアを積みながら、先輩たちの指導にもあたりつつ、患者さんのために仕事を一生懸命がんばる。両親の近所に住み、家のことを手伝ってもらい、夫とは仲の良い家庭を築きたい。(4年女子、医学・歯学・薬学)

### 仕事 and 趣味

趣味は車なので、自動車関連の仕事をしたいと思う。安定した収入よりも好きなことを仕事に生かした、やりがいのある仕事ができれば良い。(2年男子、社会科学)

看護師をして働いていて、週末は自分の好きな趣味を楽しんでいる。(3年女子、医学・歯学・薬学)

### 仕事 and 社会貢献

会社で仕事をしながらも、他方で社会に対して政策提言や問題提起を行っている立場。(修士2年男子、工学)

得意な語学を生かしながら、環境問題と音楽を関連づけて、より幅広い環境課題に取り組んでいると思います!(1年男子、人文科学)

国際貢献ができるような仕事に就き、自らを成長させると共に、周りの人々を助けることもできる立場になっている。(2年女子、社会科学)

## 6 わからない

・将来のことはわからない。今の日本の政治・経済への不安はあまりに大きい。大手と言われている外資系投資銀行ですら経営に行き詰まっていたことに大変驚きが想像できるが、疑問である。(2年男子、人文科学)

・全く思い浮かばない。しかし「大体18歳で大学入学、22歳で就職、20代で結婚」のような世間の決めた年齢の軸を気にしないような生き方をしたい。(2年女子、人文科学)

・真っ白。どんなイメージもできない。すべてはこれからだと思う。(3年男子、社会科学)

S

澤田美奈子(さわだ・みなこ)

国際基督教大学教養学部教育学科卒。東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。2007年4月よりHR1研究員。未来社会に関する研究会、科学技術と社会の関係に関する研究、学びの場の実践研究「こども屋」事務局等を担当。

